



坂戸市立坂戸小学校 **笑顔・感動・花いっぱい**  
**夢道場・坂戸小だより**

- 【学校教育目標】  
 ○やさしく（徳）  
 ○かしこく（知）  
 ○たくましく（体）

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和2年11月30日  
 第16号

『子供たちのため未来のために、今こそ！』

【坂戸小の目指す教育①】

【本年度の重点】 ○「**学び合う**」教育（児童⇄教職員⇄家庭・地域）

子供たちの自己肯定感を高め、**人間関係形成力と学力向上**を図る教育の推進

次代を担う子供たちの「生きる力(生き抜く力)」を育成するために本校が重点としている取組を、学力向上策に焦点を当てて「『学び合い』による授業」を中心に「非認知能力」と「言語能力の育成」等について改めてご紹介します。学校はもとより、ご家庭・地域の皆様も、「認めて・褒めて・伸ばす」教育を根幹に、子供たちの情意面をさらに伸ばすとともに、規則正しい生活習慣や家庭学習の習慣化、家庭での言葉遣いや家読(うちどく)等の言語環境の整備に引き続きご協力をお願いいたします。

□【本校の推進している『学び合い』とは】 新学習指導要領で重要とされる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、子供と子供、子供と教師が考えを交流し合うことで、新しい考えや違う考えに出会ったり、今までの考えを見直したりして、理解を深めることや教材の価値に深く触れたりしていく学習活動です。

□【なぜ『学び合い』なのか】 技術革新など急速に変化する時代において、主体的に変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことができる人材の育成が重要とされています。そこで、授業中の『学び合い』を通して、主体的に課題に取り組み、他者との協働の中で学びを深めることができる子供の育成を図ります。

□【『学び合い』の授業で大切にしていること】 わからないときは「教えて」と言える。言われたら必ずわかるまで教えてあげる。グループになったら一人残らず助け、誰一人として見捨てないのがルール。たくさんの友達と「教えて」「いいよ」「ありがとう」の会話の中で、学級が誰にとっても居心地の良い空間になっていきます。

□【坂戸小の目指す集団づくりの2つの側面～ケアリング・コミュニティとラーニング・コミュニティ～】

ケアリング・コミュニティ ⇒ 互いに支え合いケアし合う生活集団の育成（安心・居場所のある教室づくり）

ラーニング・コミュニティ ⇒ 共に学び合う学習集団の育成（活動と対話のある協同的な学びの展開）

★本校は、『学び合い』を提唱された東京大学名誉教授 佐藤 学 先生をはじめ、経年を通して学びの共同体スーパーバイザー(元・茅ヶ崎市教育委員会教育長) 谷井 茂久 先生に直接ご指導をいただきながら、実践研究を行っています。

□【非認知能力の育成を通じた学力等の認知能力の向上】 \*非認知能力＝認知能力ではない能力全般。学力向上の根拠となる自己肯定感(自己有用感など)、共感力、自制心、勤勉性、やり抜く力などを集団生活の中で育成します。

□【言語能力の確実な育成】 教育活動全般を通じた「言語環境の整備」と「言語活動の充実」を図るとともに、あらゆる授業や教育活動を通して知識・技能、思考力、判断力、表現力等を育成します。

□【教科担任制の充実】 本校ならではの教科担任制で、専門性の充実と小・中学校間の「滑らかな接続」を図ります。

坂戸小っ子の学力、さらにUP！県や市を大幅に上回る！～「埼玉県学力・学習状況調査」から～

年度当初の臨時休業の影響で実施が例年に比べ遅れましたが、「埼玉県学力・学習状況調査」の結果ができました。この調査の大きな特徴は、平均正答率だけでなく**個人や集団の経年の「伸び」**がわかるということです。

概要は、本校児童(対象：4・5・6年生)は、調査教科＝「国語・算数」において県や市の平均正答率を大幅に上回るとともに、ほとんど全ての観点項目での「伸び」も、県や市を上回っていました。本校独自として課題となっていた観点項目の「伸び」も顕著に見られ、坂戸小っ子たちの努力の成果が表れています。今後、詳細に検証を行い、これまでの指導を振り返りながら、さらなる学力向上を目指して指導改善に役立てていきます。

★配付しました個票をもとに、親子で学習についての振り返りを是非行っていただきますようお願いいたします。正答率との比較だけでなく、各観点項目の経年での「伸び」に注目していただき、今後の課題の克服のために家庭学習にも活かしてください。

## 子供の学力と相関関係が見られる「保護者の働きかけ」

### 【生活習慣】

□子供が決まった時刻に起きよう（起こすよう）にしている / □毎日子供に朝食を食べさせている / □テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている / □テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をする時間を制限している / □携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている

### 【子供への接し方】

□子供の良いところを褒めるなどして自信をもたせるようにしている / □子供に努力することの大切さや最後までやり抜くことの大切さを伝えている / □学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来や進路、地域や社会の出来事やニュース等、会話が深い / □子供に本や新聞を読むようにすすめている / □子供と読んだ本の感想を話し合ったりしている / □子供が小さい頃、絵本の読み聞かせをした / □子供と何のために勉強するかについて話している / □計画的に勉強するよう子供に促している / □地域社会などでのボランティア活動等に参加するよう子供に促している

### 【保護者の行動】

□授業参観や運動会などの学校行事への参加 / □お子さんと一緒に行う体験活動（生活・文化体験、自然体験、社会体験）などの地域活動への参加 / □地域の行事と一緒に参加する / □本を読む（漫画や雑誌は除く） / □新聞の政治経済や社会問題に関する記事を読む

\*文部科学省委託研究 『全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究』（お茶の水女子大学）より

## ≪ 夢道場・ほっとインフォメーション ≫

### 坂戸小会場『第2回 ふれあい漢字検定』

「坂戸小・学びの絆プロジェクト」の一貫として、1月30日（土）に本校を会場に実施する『第2回 ふれあい漢字検定～世代を超えた学び合い～』につきまして、保護者の皆様には事前のアンケートへのご協力をありがとうございました。参加希望状況につきましては、どの項目も「どちらともいえない」が過半数でしたが、

□「お子さんを受検させたいと思いますか」 177名

□「家族で参加したいと思いますか」 61名

という結果でした。なお、自由記述の欄には、「漢字検定に合格したい！と苦手だった漢字を意欲的に学習するようになりました。」「お陰様で、在学中に親子で2級まで合格することができました。」など、たくさんの温かいメッセージもいただきました。

漢検について何かございましたら、下記（担当）までお願いします。

【お問い合わせ先】坂戸小学校 ☎281-0039（校長）まで

## 1 2 月の主な行事予定

### 【生活目標】やさしい言葉で話そう

- 1日(火) 開校記念日、お話朝会(放送)
- 2日(水) 懇談会1・4年、6年修学旅行
- 3日(木) 5年自然体験学習
- 4日(金) 懇談会2・5年
- 7日(月) 通学班会議・一斉下校、安全点検日
- 8日(火) 登校指導(～16日)、2年町探検  
懇談会3年・6年・くすのき・けやき
- 9日(水) 授業公開5校時、フレンドタイム
- 10日(木) 委員会
- 11日(金) 授業公開5校時
- 14日(月) 清掃週間開始
- 15日(火) 授業公開5校時
- 23日(水) 4日課、給食終了日
- 24日(木) 3日課
- 25日(金) 終業式、3日課

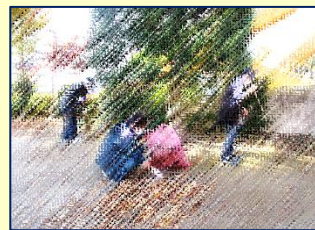
【冬季休業日】12/26(土)～1/5(火)

※ 詳細は、学年だより等でご確認ください。

### いつも本当に有難うございます

### 祖父母の皆さんによる落ち葉掃き

時節柄、学校には、たくさんの落ち葉で、学校での落ち葉掃きだけでは追いつかない状況です。そのような中、祖父母の皆さん達が、毎日のように落ち葉掃きを手伝ってくださり、本当に助かっています。



### 【校長室より】『坂小っ子全員が我が子、我が孫』

本校教育の大きな活力の要因は、言うまでもなく絶大なご家庭のご協力。今年度はコロナ禍にあって、お子さんの健康管理、毎日の消毒・清掃ボランティア等、これまで以上にご支援いただいている。さらには、保護者の皆様に加え、祖父母の皆様のご支援も増えており大変に有難い。登下校の見守りに加え、毎日の消毒や校内清掃、今は季節柄、落ち葉掃きのご支援も。「最初は自分の孫がお世話になっているので少しでもお手伝いをと始めましたが、子供たちとふれあい、今は子供たち全員を自分の孫のように思います。可愛い孫たちのため、これからもお手伝いさせていただきますよ」。この上もない有難いお言葉に活力を頂いた。「全ての子供が我が子であり、我が孫」。坂戸小全体が一つの家族のようにふれあいの絆で結びつく。理想の学校像である。